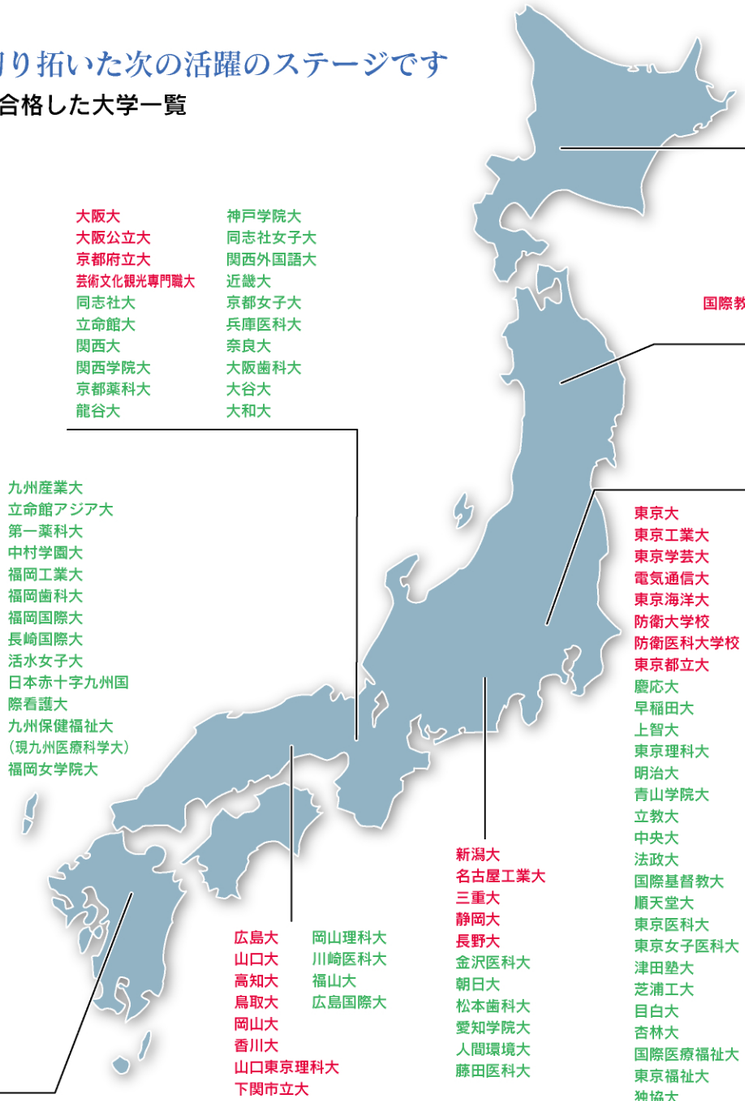
真和生が切り拓いた次の活躍のステージです

過去3年間で合格した大学一覧



室蘭工大
北海道医療大
酪農学園大
北海学園大

大阪大
大阪公立大
京都府立大
芸術文化観光専門職大
同志社大
立命館大
関西大
関西学院大
京都薬科大
龍谷大
神戸学院大
同志社女子大
関西外国語大
近畿大
京都女子大
兵庫医科大
奈良大
大阪歯科大
大谷大
大和大

国際教養大　岩手医科大
東北医科薬科大

九州大
熊本大
長崎大
佐賀大
大分大
宮崎大
鹿児島大
琉球大
九州工業大
福岡教育大
九州歯科大
熊本県立大
福岡県立大
福岡女子大
北九州市立大
長崎県立大
名桜大
崇城大
熊本学園大
尚絅大
九州ルーテル大
九州看護福祉大
熊本保健科学大
久留米大
久留米工業大
産業医科大
西南学院大
福岡大
九州産業大
立命館アジア大
第一薬科大
中村学園大
福岡工業大
福岡歯科大
福岡国際大
長崎国際大
活水女子大
日本赤十字九州国際看護大
九州保健福祉大（現九州医療科学大）
福岡女学院大

東京大
東京工業大
東京学芸大
電気通信大
東京海洋大
防衛大学校
防衛医科大学校
東京都立大
慶応大
早稲田大
上智大
東京理科大
明治大
青山学院大
立教大
中央大
法政大
国際基督教大
順天堂大
東京医科大
東京女子医科大
津田塾大
芝浦工大
目白大
杏林大
国際医療福祉大
東京福祉大
独協大
明海大
北里大
日本薬科大
日本保健大
帝京平成大
東京歯科大
昭和大
昭和薬科大
工学院大
多摩美大
帝京大
東海大
東京農業大
東京薬科大
日本女子大
星薬科大
東洋大
日本大
日本獣医生命科学大
洗足学園音楽大
明海大
デジタルハリウッド大
千葉工業大
学習院大
大東文化大
武蔵野美大
東京女子大
東京電機大
東京国際大
鎌倉女子大
埼玉医大
文教大
東京造形大
駒澤大
成城大
麻布大
神奈川工科大
聖マリアンナ医科大

新潟大
名古屋工業大
三重大
静岡大
長野大
金沢医科大
朝日大
松本歯科大
愛知学院大
人間環境大
藤田医科大

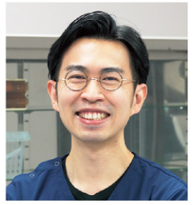
広島大
山口大
高知大
鳥取大
岡山大
香川大
山口東京理科大
下関市立大
水産大学校
岡山理科大
川崎医科大
福山大
広島国際大

令和6年度 指定校推薦状況

本校は多くの大学から指定校推薦の枠を設けていただいています。主体的に真摯にそして充実した学校生活を積み重ねていくことで、大学進学の選択肢は大きく広がります。

北海道	北海道医療大学
栃木県	国際医療福祉大学
埼玉県	城西大学
埼玉県	聖学院大学
埼玉県	日本工業大学
埼玉県	日本薬科大学
千葉県	千葉工業大学
東京都	秀明大学
東京都	青山学院大学
東京都	学習院大学
東京都	北里大学
東京都	慶應義塾大学
東京都	工学院大学
東京都	国士舘大学
東京都	駒沢女子大学
東京都	芝浦工業大学
東京都	大東文化大学
東京都	多摩大学
東京都	中央大学
東京都	帝京大学
東京都	東海大学
東京都	東京工科大学
東京都	東京女子大学
東京都	東京電機大学
東京都	東京農業大学
東京都	東京薬科大学
東京都	東京理科大学
東京都	東京歯科大学
東京都	東京国際大学
東京都	東京都市大学
東京都	日本歯科大学
東京都	日本文化大學
東京都	武蔵野大学
東京都	明治大学
東京都	立教大学
東京都	早稲田大学
神奈川県	神奈川工科大学
神奈川県	神奈川歯科大学
神奈川県	関東学院大学
神奈川県	相模女子大学
神奈川県	昭和音楽大学
神奈川県	鶴見大学
神奈川県	東洋英和女学院大学
神奈川県	横浜薬科大学
石川県	金沢工業大学
石川県	北陸大学
静岡県	静岡産業大学
岐阜県	朝日大学
愛知県	愛知学院大学
愛知県	名古屋音楽大学
愛知県	名古屋外国語大学
愛知県	名古屋商科大学
愛知県	名古屋芸術大学
三重県	鈴鹿医療科学大学
京都府	平安女学院大学
京都府	京都光華女子大学
京都府	同志社大学
京都府	同志社女子大学
京都府	明治国際医療大学
京都府	立命館大学
大阪府	大阪大谷大学
大阪府	大阪歯科大学
大阪府	関西福祉科学大学
大阪府	太成学院大学
大阪府	帝塚山学院大学
大阪府	大和大学
兵庫県	関西学院大学
兵庫県	関西国際大学
兵庫県	甲子園大学
兵庫県	神戸学院大学
兵庫県	神戸女学院大学
兵庫県	神戸女子大学
兵庫県	武庫川女子大学
岡山県	岡山理科大学
広島県	広島工業大学
広島県	福山大学
広島県	安田女子大学
広島県	広島国際大学
広島県	広島文教大学
広島県	比治山大学
山口県	梅光学院大学
山口県	宇部フロンティア大学
山口県	東亜大学
徳島県	徳島文理大学
福岡県	九州共立大学
福岡県	九州女子大学
福岡県	久留米大学
福岡県	西南学院大学
福岡県	西南女学院大学
福岡県	第一薬科大学
福岡県	筑紫女学園大学
福岡県	福岡大学
福岡県	福岡歯科大学
福岡県	福岡女学院大学
福岡県	九州情報大学
福岡県	福岡看護大学
福岡県	福岡国際医療福祉大学
福岡県	令和健康科学大学
佐賀県	西九州大学
長崎県	活水女子大学
長崎県	長崎純心大学
長崎県	長崎国際大学
長崎県	長崎外国語大学
長崎県	鎮西学院大学
熊本県	熊本学園大学
熊本県	崇城大学
熊本県	尚絅大学
熊本県	平成音楽大学
熊本県	熊本保健科学大学
熊本県	九州看護福祉大学
大分県	日本文理大学
大分県	別府大学
大分県	立命館アジア太平洋大学
宮崎県	宮崎国際大学
宮崎県	九州医療科学大学（九州保健福祉大学）

社会で活躍する卒業生 INTERVIEW



医　師

光永　敏哉さん

●東京慈恵会医科大学
附属病院救命救急センター
診療医長

学生時代は人生で最も勉強する時代。そして、将来様々な社会の困難に解決の道をつけるための人間力を育む時間でもあります。

東京慈恵会医科大学附属病院救命救急センターで診療医長を担当されている光永敏哉さん（真和高等学校卒業）。救急医療の先頭とも言えるAMATに所属され、2024年1月1日に起きた能登半島地震の被災地に第１次先遣隊として、困難な状況の中で医療支援活動を行われました。

■ AMATとはどんな組織ですか

AMATは（All Japan Hospital Medical Assistance Team：全日本病院医療支援班）の略で、「社団法人全日本病院協会」で組織される民間病院が災害に見舞われた際の支援体制を整え、強化していくものとして立ち上げられました。

■ AMATとして被災地に到着してまず行うべきことは何なのでしょうか

何よりもニーズの把握でしょうね。それを元に問題点を整理します。次に具体的に最適な医療支援の内容・方法を決めていきます。

私は今回が初の災害の現場での活動でありましたが、現場のニーズや状況は千差万別で、最適な医療支援の方法は現場のチームや関係者や支援を必要としている人たちと協働して考えなければなりません。そこには、単にマニュアルや組織だけに頼らない、医療人としての信念というか心意気みたいなものがなければ最適解はみつからないような気がしています。

■ 救急医療をめざされたきっかけはありますか

高校2年生の時にある小児在宅医療に携わっている小児科の先生と出会い、こんな風に人の人生の再生に携わることのできる仕事があるのだと大変感動し、医師を目指すようになりました。大学進学後ははじめは小児科医をめざしていたのですが、研修医1年目の終わりに東日本大震災が起きました。黒い津波に町も人も全てが押し流されるのを見て、最も困難な場所に希望を照らし、人々の命・生活・人生を守りたいと思い、自分も第一線で救急医療にあたりたいと強く思うようになり、救急医療をめざすようになりました。

幸いに自分のキャリアを重ねる中で、フランスへの留学や救命センターのICU立ち上げに携わったりと貴重な経験も積み重ねてきました。現在は、大学附属病院の救命救急センターで臨床・研究・教育も担当しています。

■ 光永さん自身が心がけていらっしゃることはなんでしょうか

まずは、医者である前に一人の人間であるという前提を忘れないこと、本当の自分の人生の目的を追求し、他の人々の幸せのために働けることを喜びとすることです。その上で、徹底的に専門能力と技術の鍛錬に挑み続ける姿勢を大切にしています。

また、患者さんの本当の声を聞く事も重要だと思います。様々な人生の条件の中で時にはその重荷に耐えかねて厳しい言葉を投げられる時もあります。しかし、感情で一喜一憂するのではなく、病はもちろんのこと、その方が本当に抱えている痛み・悲しみにどこまでアクセスできるかが人工知能にはできない医師としての本当の働きだと思っています。

■ 真和の後輩や真和を目指している受験生へ伝えたいことはありますか

学生時代は人生で最も勉強する時代です。そして、勉強は単に受験に合格するためだけに取り組むものではなく、将来様々な社会の困難に解決の道をつけるための人間力を育む時間でもあります。だからこそ、思いっきり経験してほしいと思います。受験beforeとafterでは自分自身が全く違います。そう考えると今は勉強に集中できる一番の環境にいる時期です。

そういう学びをしていく中で、日々ものすごいスピードで進歩していく技術や社会の状況を常に人間の介在を意識して見つめていってほしいですね。技術の発達の後は成熟が必要です。それには人の心が基盤になっていなければ成熟はあり得ないと私は思っています。

ピアニスト

吉田　秀晃さん

●一般社団法人全日本ピアノ
指導者協会（ピティナ）正会員
●熊本大学教育学部、および
尚絅大学短期大学部非常勤講師

母校愛が繋いだ30有余年にわたる音楽ステージ

2023年の秋。【Autumn Concert in Shinwa～響け！芸術の光～】と、名づけられた熊本県立劇場でのコンサート。日本はもとより世界で活躍している真和卒業生の音楽家たちが、まさに時間と空間を超えて熊本に集い、後輩や真和の保護者に向けて芸術の光を届けてくれました。

このコンサートの出演者であるピアニストの吉田秀晃さんは、真和卒業生という強い絆が30年間にも及ぶ息の長いコンサート開催の実現に繋がったと話しました。

■ 錚々たるメンバーが集まりましたね。

はい、バイオリン、ヴィオラ、チェロ、ソプラノ、ピアノ、そしてバレエやデュオなど、様々なアーティストの方々が集結しました。

あまり知られていないのですが、実は真和の卒業生で音楽の道に進んだ仲間は意外と多いのです。東京芸大をはじめ、音楽大学に進学した方々も多く、「真和高校には音楽コースがある」と誤解されたこともあります（笑）。

■ 今回の芸術鑑賞会の開催のきっかけはどんなことだったのですか。

およそ30年前の真和中学・高校30周年のときに新装なった仏殿にグランドピアノが納入されました。体育館で開催された30周年記念式典では、この仏殿のピアノをわざわざ運んでいただき、在校生で演奏に臨みました。それ以前の事はよく分かりませんが、この式典中のコンサートがその後10年ごとの創立記念コンサートや芸術鑑賞会へのめばえになったのかもしれません。

■ 30年前のコンサートが2024年の芸術鑑賞会に繋がったと？

そうです。30周年の時は高3在学中でしたが、その後県立劇場にて40、50周年記念コンサート、そしてコロナ禍の影響で少し延期された2023年に60周年を記念して芸術鑑賞会の実現となりました。

それぞれの回の演奏者である卒業生の、母校に対する愛情が10年ごとのコンサートにつながっていったのだと思います。

■ 母校愛が育んだ30年越しのコンサートということですね。

卒業生の仲間と一緒にステージにあがると、たとえ世代が違っていても同じ学校で過ごしたという繋がり、「真和」という拠り所を実感します。これは当時の真和の「自由な校風」ということから生まれている気がします。真和は、生徒たちが真剣に努力することをそっと背中を押してくれるようなそんな校風だと思っています。

■ 後輩や真和中学・高校への進学を考えている皆さんへのメッセージをお願いします。

将来何になりたいかということを思い巡らす時期だとおもいますが、道は決して一つじゃないということを知っておいてほしいですね。私はクラシック音楽のピアノ演奏、指導の道に進みましたが、音楽の中でも実に様々な分野の学問、そして仕事があります。

また、選択肢を広げるのも大事だと思います。勉強することで、選択肢が広がる。広がっていくと楽しさもみえてくる。大変な受験勉強に少しでも前向きになるために、そのようなとらえ方があってもよいと思います。真和では自由な校風を感じてのびのびした学校生活を送ってほしいと願っています。